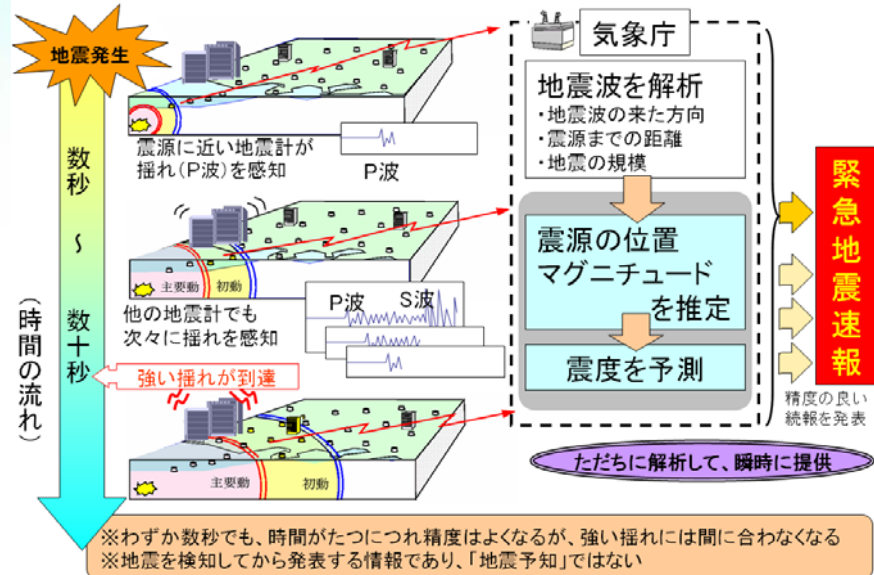


<しくみ>

緊急地震速報は、震源に近い観測点で観測された地震波を解析して、強い揺れが予測される地域を、強い揺れの前にお知らせするものです。



- 震源近くで地震波(P波、初期微動)をキャッチし、震源や規模、想定される揺れの強さ(震度)等を自動計算します
- 地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まる数秒~数十秒前に、素早くお知らせします
- 震度5弱以上と予想された場合は、緊急地震速報(警報)を発表します

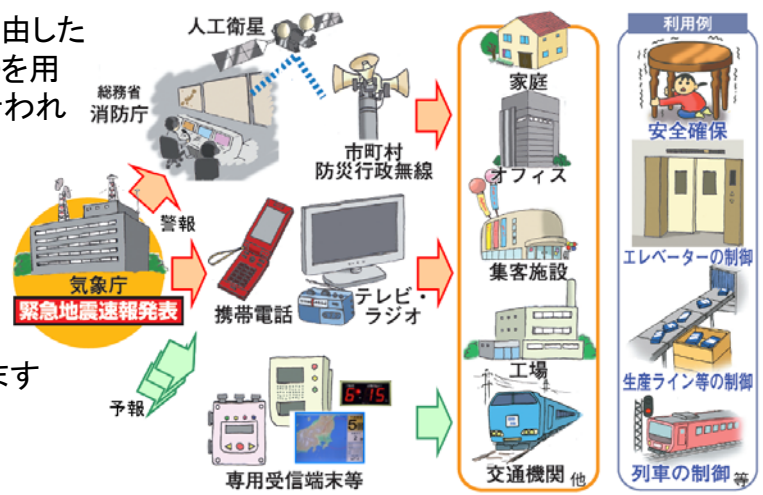
※わずか数秒でも、時間がたつにつれ精度はよくなるが、強い揺れには間に合わない
 ※地震を検知してから発表する情報であり、「地震予知」ではない

<入手方法と利用>

◇緊急地震速報の主な入手方法

- 防災行政無線
一部の自治体では、人工衛星を経由した全国瞬時警報システム(J-ALERT)を用いた防災行政無線による放送が行われています
- テレビ・ラジオ・携帯電話
・テレビやラジオ*1を視聴時に、報知音とともにテロップやアナウンスが放送されます
・一部の携帯電話会社では、携帯端末への配信が行われています
- 専用端末等
民間の事業者により、独自に予想した個別地点の震度等を予報として、専用端末*2等を用いて提供するサービスなどが行われています

家具の固定などの地震の備えに加え、日頃から緊急地震速報の対応訓練を行いましょう。



*1 準備の整った放送局から放送が開始されています
 *2 専用端末を導入した事業者では、法人税等の軽減措置を受けられる場合があります
 詳しくは内閣府のホームページをご覧ください
http://www.bousai.go.jp/jishin/chubou/taisaku_sonota/zeiseiyuuguuseido.html

御注意下さい!!
 気象庁が、市民のみなさまに受信装置の設置等を義務付けたり、直接設置に伺ったりすることはありません。

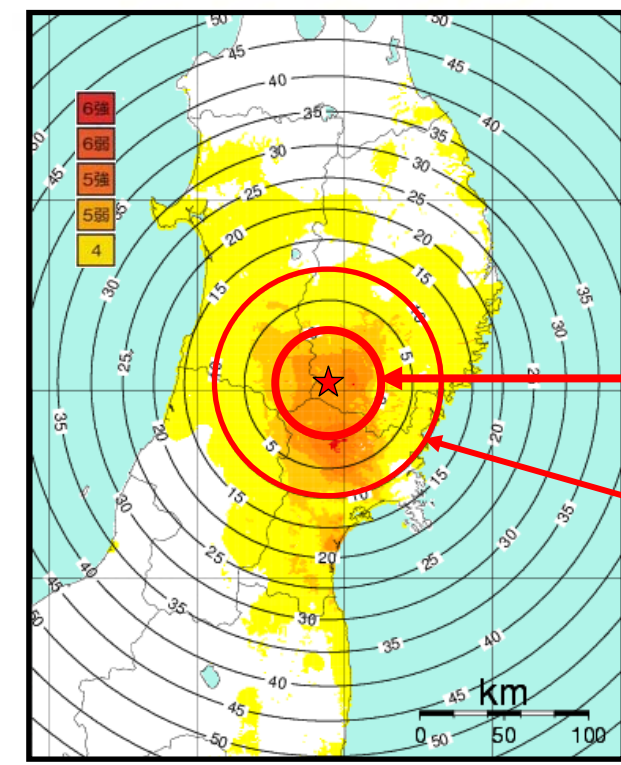
緊急地震速報について
 気象庁地震火山部管理課
 〒100-8122 東京都千代田区大手町1丁目3番4号
 電話:(03)3212-8341(代表)
 気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp/>
 緊急地震速報について
<http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/index.html>

専用端末等について
 緊急地震速報利用者協議会
<http://www.eewrk.org/>

※緊急地震速報は、財団法人鉄道総合技術研究所と気象庁による共同技術開発の成果と、独立行政法人防災科学技術研究所による技術開発の成果により、可能となりました。
 平成21年3月

緊急地震速報

ぼくたちの命をまもるおしらせだ



図中の数字は、緊急地震速報(警報)の提供から強い揺れが来るまでの猶予時間(秒)

猶予時間が0秒の範囲
 これより震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わない

猶予時間が10秒の範囲

平成20年(2008年)
 岩手・宮城内陸地震
 (★:震源)

緊急地震速報は、地震による強い揺れを事前にお知らせする、地震動の予報・警報です

緊急地震速報の限界

- ・震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合いません
- ・緊急地震速報(警報)を早いタイミングで発表できない場合があります
- ・予測した震度には±1程度の誤差を伴います

国土交通省
気象庁

緊急地震速報「利用の心得」

家庭では

周りの人にも声をかけて

頭を保護し丈夫な机の下などに隠れる
あわてて外へ飛び出さない
無理して火を消そうとしない



自動車運転中は

あわててスピードをおとさない
ハザードランプを点灯し、
まわりの車に注意を促す



急ブレーキはかけず、
緩やかに速度をおとす
大きな揺れを感じたら、
道路の左側に停止

人がおおぜいいる施設
では

係員の指示に従う
落ちついて
行動
あわてて出
口に走り出
さない



緊急地震速報を見聞きしなくても

**地震の揺れを
感じたら**

地震の揺れを感じなくても

**緊急地震速報を
見聞きしたら**

周囲の状況に応じ

あわてず まず身の安全を!!

緊急地震速報は見聞きしてから、強い揺れが来るまでの
時間が**数秒から数十秒**しかありません

屋外(街)では

ブロック塀の倒壊等に注意
看板や割れ
たガラスの
落下に注意
丈夫なビル
のそばであ
ればビル
の中に避難



鉄道・バス
乗車中は

つり革、手すりに
しっかりつかまる



エレベーター
では

最寄りの階で
停止させ
すぐに降りる



山やがけ付近
では

落石やがけ崩れ
に注意

